



都市と田舎の「二地域居住」を推奨する淵本氏

古民家・田畑の有効活用へ

はぴねす不動産・洲本義彬氏

氏。昨年「新エネシステム」を退社し、長年より添い、今だに愛して止まない細君・律子氏と一緒に合同会社「幸福堂」を設立した。

義彬氏は「はびぬず不動産」を母体、国土交通省が推進を図る都市住民が農山漁村にも同時に生活拠点を持つ「二地域居住型」太陽光発電システムを融合させ、古民家(空き家)と田畑の有効活用の提案を、大阪

入圃に▽人材不足の解消▽コミュニティの活性化▽空家・空地の有効活用、遊休農地の解消▽経済効果」をあげる。在宅勤務(テレワーク)など場所にとられない働き方が広がる中、都会と田舎の二地域居住を促し、地方の人口減対策につながる狙いだ。

18年度、政府は地方自治体や非営利団体が実施する二地域居住の体験モニター

## 『2地域居住』を提案

の中心部など進めている。国土交通省は、二地域居住のメリットを、実践者にとつては▽ゆとりある生活（スローライフ）▽心・体・健康等の癒し、企業にとつては▽働き方改革▽社会貢献活動▽福利厚生▽新規ビジネス展開をあげ、受入側には▽人材不足の解消▽コミュニティの活性化▽空家・空地の有効活用、遊

などの調査費用の一部助成をスタートした。二地域居住を含む地方への「お試し」居住の推進に取り組む自治体の割合を、14年の23%から20年までに倍増する目標を掲げ費用助成で自治体の背中を押す。

一方で、費用負担や田舎ならではの近所づきあい、移動時間の無駄などのデメリットが実践者や体験者か

資に『二地城居住』をやっている不動産屋があることを知っていた（こと）など。

今年3日、来年（19年）後期のNHK朝の連続テレビ小説が、甲賀市信楽町で奮闘する女性陶芸家の半生を描く『ブーレーツ』に決定したと発表された。昨年（17年）4月の『忍者と信楽焼 日本遺産 タブル認定』に続く吉報に翌4日、若い。

工事店2代目として育った地元愛宕か。それとも太陽光発電システムにいち早く目を付けた先見性のなせる業か。滋賀県内には魅力ある土地はいっぱいある。県内他の地域の人とはネットワークが組めればいい」とも。滋賀県が、都市部で働く人の『二地城居住』の地として選ばれるのが注目したい。

（上嶋）

年末年始発行のお知らせ

滋賀産業新聞は、年末年始休暇に伴い28日(木)付けをもちまして年内の発行を終了いたします。  
なお、新年は7日(月)付けからの発行となります。  
平成31年も引き続きご愛読の程、よろしくお願ひ申し上げます。

株式会社 S I

株式会社 SIN

## 東近江市 愛東外地区の土地改良計画

## 事業費概算は2.1億

東近江市愛東外町地先の水田34ヘクタールを対象に、県営事業として水路並びに暗渠排水を整備する土地改良事業（農業競争力強化農地整備事業）の19年度採択に向けた申請手続きが進められている。地区名は「愛東外地区」。

当該地区は、東近江市の中部、一般河川愛知川右岸の河岸段丘上に広がる農業地帯で昭和40年代後半（70年頃）の団体営畑整備事業により30ヘクタールに整備さ

しかし、用水路は石綿管のパイプラインで経年劣化による漏水が発生、また、区画整理は実施済みであるものの一部農地で水はけが悪く、作業効率や生産性が悪い状態となっている。

このため、用水路並びに暗渠排水を整備し、担い手となる農業経営体（農地所有資格法人）の効率的かつ安定的な経営の充実に図り、さらにはこの法人を母体として、認定農業者や後

継者の育成を目的に本事業の採択を申請するもの。

工事概要は、▽用水路工が面積34・1㎡を対象にVU管を延長4980㎡布設（通水量0・1立方メートル/秒）、▽暗渠排水工は面積7・7㎡を対象に集水渠をVU管で50×100㎝×延長118㎡、貯、吸水渠を50㎝×延長939㎡、貯布設、▽揚水機は片吸込渦巻の125㎎×1台を設置する。費用は概算で、工事費が用水路工1億3300万円、暗渠排水工1930万円、揚水機工870万円の計1億6100万円、コンサル関係が測量試験690万円、用地買収補償費800万円、全体実施設計2410万円の計3900万円、その他1000万円（工事雑費200万円、事務費800万円）を含め合計2億1000万円の総事業費を見込む。

採択初年度はコンサル業務を進め、工事は2年目から2～3年で実施の見通し。

## 34 ha対象に用水路等整備

## きょうの紙面

◇日本下水道事業団は湖南中部浄化センター建設工事その58について一般競争入札で公示した（2面）

◇県内の建築確認申請と入札情報、入札結果（4・5面）

◇JAおうみ富士発注の守山第3支店新築工事は入札の結果、伊藤組が落札した（6面）

水稲賣甲賀市長は「大変うれしく思っている。これを機会に、『日本六古窯 栗焼』の更なる発展に期待するとともに、忍者、東海道くすりなど、歴史と伝統にあふれる甲賀市に多くの皆さまに訪れていただくことを心から期待する」とコメントした。

提案しますー。都会⇔田舎、「2地域居住」という生き方！

今、「2地域居住」という生き方が注目されています。都会と田舎に住居を持ち、仕事は都会・休日は田舎という風に行き来し、バランスを取りながら人生を豊かにするライフスタイルです。

そこで、「甲賀流」2地域居住ライフの提案一。  
「古民家」×「太陽光発電」

田舎暮らしの古民家と太陽光発電システムを組合わせて発電。更に敷地内の空き地やカーポート等にソーラーパネルを設置し発電します。古民家を休日の「別荘」兼「太陽光発電所」として活用。太陽光さえあれば主人不在でも発電し、電力会社に売電し、電気代を稼いでくれます。甲賀市は大阪市内から車でも電車でも約 90 分。気候も穏やかで過ごしやすく太陽光発電にも最適です。

実家の空き家でお悩みの方—

放置され倒壊の危険がある空き家が増えたことから、2015年「空き家対策特別措置法」が施行されました。防災・衛生・景観の保全の面から、適正に維持・管理されていない空き家は、自治体から「特定空き家」に指定され、固定資産税が最大6倍になってしまい、更にその後の解体費用も必要となります。空き家となった実家を相続して残す場合は、相応の費用負担と維持・管理の為に時間と労力が必要となることを覚悟しておく必要があります。

そこで、住宅の価値があるうちに  
賃貸・売却がベストな選択です!!

▼ お気軽にご相談ください


**はびねす不動産**

合同会社 幸福堂  
宅地建物取引業者免許：滋賀県知事(1)第3668号  
所属団体：(公社)滋賀県宅地建物取引業協会

〒528-0046 滋賀県甲賀市水口町三大寺 370  
TEL / FAX : 0748-60-5693 <http://happy1122.net>